

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果(上柴西小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数
上柴西小	下回った	下回った
埼玉県	69	64
全国	67.7	63.4

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	上柴西小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	94.2	94.4	93.7
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	91.9	84.5	82.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	100	92.3	91.6
学習習慣	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	83.7	83.3	80.7
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	72	58.5	54.6
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	62.8	50.8	48.6
	放課後や週末に、家で勉強や読書をして過ごすことが多い	46.5	50.2	49.3
教科への関心	国語の勉強は好きだ	59.3	63	62
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	89.5	94	93.2
	算数・数学の勉強は好きだ	68.6	60.4	61
	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	94.2	94.8	94.1
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	88.4	85.4	81.9
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	75.6	73.3	67.6
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	87.2	84	79.6
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	86.1	88.9	86.3
その他	自分には、よいところがあると思う	94.2	85.9	84.1
	将来の夢や目標をもっている	81.4	83.6	82.4
	人の役に立つ人間になりたいと思う	97.6	96.2	95.9
	今住んでいる地域の行事に参加している	1.2	3.3	4.4

【質問紙分析】

- ・「学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)」割合が県、全国の割合と比べて高いのは、学年の実

態に合わせた適度な量や反復学習を中心とした家庭学習に取り組んでいるためだと考えられる。

- ・「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする」割合が県、全国の割合と比べて高いのは、前もってテストの日程を児童に知らせたり、家庭でもできる学習を積極的に伝えたりしているためだと考えられる。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加している」割合が県、全国と比べて低いのは、コロナ禍の影響で今までの行事が縮小、中止したことが原因であると考えられる。そのため、PTA理事、中学校区と連携して新たな行事を企画する必要があると考えられる。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

- 3**二(2) 出題の趣旨は、「人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる」であるが、授業において、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりする活動を取り入れている結果だと考えられる。
- 3**三 出題の趣旨は、「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる」であるが、授業において、授業の振り返りをしたり、授業の終末にまとめたりと、書く活動を取り入れている結果だと考えられる。
- 3**四 出題の趣旨は、「日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる」であるが、普段から読書する習慣が身に付き、資料を読み取る力がついている結果だと考えられる。
- 1**二(1) 出題の趣旨は、「話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる」であるが、話し手が説明をする時に、句読点で句切らず聞き手にとって分かりにくい説明になってしまったため、言葉の順序に気を付けて短い文に区切った話し方に変えたことを捉えることができていないためだと考えられる。
- 2**(1) 出題の趣旨は、「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる」であるが、メモから集めた情報の共通点を考えていることを捉えることができていないためだと考えられる。
- 2**三ア 出題の趣旨は、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」であるが、「競技」の「きょう」または「ぎ」のどちらか一方は書けているが、もう一方は書けていない。いずれも書けていないのは、漢字

の定着ができていないためだと考えられる。

【算数・数学】

- ③(3) 出題の趣旨は、「球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる」であるが、授業において答えを導くための見方・考え方を分かりやすく指導し、朝学習や家庭学習など繰り返し取り組んだ結果だと考えられる。
- ③(4) 出題の趣旨は、「角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる」であるが、授業において自分の考えを説明することを取り入れている結果だと考えられる。
- ④(2) 出題の趣旨は、「速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる」であるが、一方が□倍になれば、もう一方が□倍になる見方・考え方ができていないためと考えられる。
- ⑤(2) 出題の趣旨は、「簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかをみる」であるが、表の縦の項目、横の項目の見方を正しく読み取れていないためと考えられる。
- ⑤(4) 出題の趣旨は、「示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる」であるが、条件を満たすための求め方が理解できていないためだと考えられる。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・話し言葉と書き言葉との違いを捉えられるように、日々の授業で発表すること、書くことを習慣としていく。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にするために、イメージマップ等思考ツールの使い方を再度指導していく。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるように、家庭学習の充実をより一層図るとともに、辞書等で言葉の意味を調べる活動を取り入れていく。

【算数・数学】

- ・今回課題となった問題は、①速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できること、②簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるようにすること、③示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断することができるかである。三つの共通点として、授業だけでは定着しにくいため、

他の授業や実生活で活かせるように、指導の改善、年間指導計画の見直しを図っていく。

【その他】

- ・算数、国語ともに、記述式の問題に対し、全体的に解答欄がいっぱいになるまで、自分の考えを書こうとしていた。本校の学校研究課題である国語科の授業をとおして、表現力を身に付けさせる取組が結果として表れているため、本校の強みとして継続して取り組んでいきたい。
- ・週1回取り組んでいる学力向上プロジェクトをはじめ、コバトプリント、過去問等様々問題に取り組めるように環境を整えていく。